

第6回中部MISt研究会本会報告書

平成28年9月4日（日曜日）に石川県金沢市の本多の森会議室にて第6回中部MISt研究会を開催させて頂きました。今回、日曜開催となったにも関わらず、本会は医師33名、コメディカル27名の方々にご参加頂き、盛況のうちに研究会を終えることができました。

本会では、10演題を各施設の先生方よりご発表頂きました。内容は外傷に対するPPS、脊椎外科領域におけるCT評価、靱帯骨化症に関連したMISt、XLIF/OLIFに関する発表など、いずれも大変すばらしいご発表であり、活発な議論が交わされました。また最優秀演題賞には、ドクター部門では富山県立中央病院整形外科の笹川 武史先生が「強直性脊椎疾患症例と非強直性脊椎疾患症例ではPPSの刺入精度に違いはあるのか？」で、コメディカル部門では、はちや整形外科病院の上野 栄朗様が「Dynamic CTにおける骨癒合判定の有用性」で選ばれました。

特別講演では、京都大学整形外科の藤林俊介先生に「MIS-LIF、合併症回避のために今できること」というテーマでご講演いただきました。LIFに関する基礎的な知識から教育的な動画、そして様々なピットフォールまで素晴らしい内容で、会場内の参加者全員が熱心に拝聴し、大変勉強になりました。

また今回、器械展示、ハンズオン、広告掲載にご協賛を頂いた多くの企業の皆様に心より感謝申し上げます。

最後になりましたが、第6回中部MISt研究会にご出席頂いた皆様、そして準備から当日までほとんどの運営を担って頂いた事務局スタッフの方々に心より御礼を申し上げます。

第6回中部MISt研究会
当番幹事 出村諭
金沢大学整形外科

